



園芸活動



今年も、ユーアイホーム中庭にて、様々な野菜、植物を植えました。愛情を注いで育てています。秋の収穫が楽しみです。



デイサービスセンター 館山荘



おやつ作りでは鯉のぼりロールをみんなでおいしく食べました！！



園芸活動では、花を植えたり、畑のお手入れをしたいしています。



4月下旬に満開となった八重桜の下、写真撮影をしました。



母の日のプレゼント！カーネーションの鉢植えを貰って笑顔一杯！



母の日メニュー！

せせらぎ荘たより

(写真) 園芸のようす



園芸の日

4月23日(火)、職員と参加者7名でせせらぎ荘玄関前の花壇に、色とりどりの花を植えました。

天候にも恵まれ、入居者の穂積さん指導のもと、沢山の花々を綺麗に植えることができました。

作業終了後のお茶会

ちょっと一息

1時間半かけて、花壇に花を植えることができました。園芸終了後は、お茶とおいしいお菓子で、ちょっと一息。これが楽しみで参加した方もいました。職員も入居者も楽しいひとときを過ごしました。



5月はホットプレートで

柏餅作り～♪

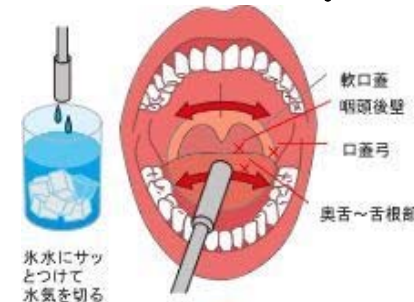


春の給食交流会たより



美味しいよ！

「医務室だよ」
ユーアイホームでは誤嚥性肺炎予防のために【口腔内アロママッサージ】を行っています。
綿棒に脱脂綿を巻き、レモン水やコーヒークリームを付け凍らせた物で喉の奥等を刺激しています。
その他介護員による嚥下体操も行っています。



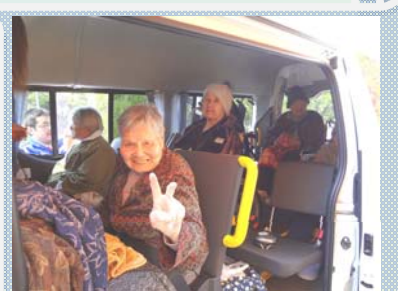
氷水にサッとつけて水気を切る

回覧

ユーアイホームだより



バスハイク・春の遠足



やまばと

平成25年6月1日

No.16

発行者
社会福祉法人
矢祭福祉会

東白川郡矢祭町
東館字蔵屋敷122
Tel (0247) 46-3385
Fax (0247) 46-4400

5月6、7、8日と「ユーアイホーム」では、矢祭山へ春の遠足に出かけました。山の斜面を、燃えるような赤色に染めるツツジを見て、皆さん圧倒されたようです。お天気にも恵まれ、のんびりと小鳥のさえずりを聴きながら、満開のツツジの下で食べるおやつは、格別ですね。

陽光まぶしく新緑が目に鮮やかさを増す中、新年度をむかえたユーアイホームの周辺でも一斉に田植えが始まりました。農繁期にはショートステイのご希望者がさらに増加しますが、一人でも多くの方を受け入れ地域の皆さまのお役に立ちたいと考えています。

さて、平成24年には「社会保障制度改革推進法」が成立、いわゆる「社会保障と税の一体改革」が本格的に始動しました。高齢者介護分野ではその目玉として「24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が推奨されていますが、特別養護老人ホームについては「高機能化と科学的介護の実践」として「5つのゼロ（おむつ・骨折・胃ろう・拘束・褥瘡）」と「4つの自立支援（認知症ケア、口腔ケア、看取りケア、リハビリ）」さらに「医療と看護と介護における業務範囲の摺り合せ（規制緩和）」が求められることとなりました。これを受け、ユーアイホームでは前年度末に「介護職員等に対する疲（たん）吸引等業務研修機関」としての登録申請を福島県におこないました。特別養護老人ホームとしては県内初の試みとなりますが、将来的にはユーアイホームのみならず、地域で介護業務に従事する方々の受講も見据えております。

当誌の名称の「やまばと」は「矢祭町の鳥」に指定されており、メーテルリンクの童話「青い鳥」のモデルになったとも謂われています。私たちユーアイホーム職員一同も「福祉」という青い鳥を日々探し続けているような気がいたします。

新年度をむかえて

施設長 金澤 健至

職員紹介

介護職員 鈴木 太一



4月から新館に勤務することになりました、鈴木太一と申します。まだまだ新人で、覚えることは山ほどあり、不慣れな点もありますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

介護職員 片野 妙子



昨年10月1日から本館の介護職員として勤務している片野です。利用者様、職員の方に親しまれる介護員になりたいと思います。よろしくお願いします。

事務員 増子 俊之



昨年12月から事務員として勤務しております。国保連への介護給付費請求、利用者様への利用料請求等を担当しています。至らない所がございますが、笑顔での対応を心掛け、地域福祉に貢献できるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

栄養士 藤田 由佳



昨年の10月から入りました栄養士の藤田です。入居者の皆さまと一緒に給食交流会などを行っています。これからも、皆さまと楽しく過ごせます様に頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

地域包括支援センターより

私たち地域包括支援センターでは認知症サポーター養成講座の受講者を募集しています。

認知症サポーターとは何か特別なことをするのではなく、認知症について偏見を持たず正しく理解し、あたたく見守る応援者のことです。サポーターが地域や商店街、金融機関などに多数存在し、ちょっとした手助けができれば、認知症の人やその家族が安心して在宅で暮らすことができます。希望する方には1時間30分程度の出前講座を実施します。団体ばかりでなく数人の個人での申し込みも受け付けています。詳しいことは下記までお問い合わせください。

矢祭町地域包括支援センター
でんわ 46-3770



編集後記

「習慣」 私たちの日常の選択の大半が、熟慮した意思決定だと思いかもしれません。しかし、人間の行動の四〇％以上は「習慣」だそうです。悪い習慣は、新しい習慣に置き換えると直せるとか。私も間食という悪い習慣をやめないと...

古屋